



応用生態工学会ニュースレター

No.84

Ecology and Civil Engineering Society (ECESJ)

2019 (令和元) 年 5 月 27 日 (月) 発行

〔発行所〕 応用生態工学会事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5 麹町ロイヤルビル 405 号室

TEL : 03-5216-8401 FAX : 03-5216-8520 E-mail : eces-manager@ecesj.com HP : <https://www.ecesj.com/>

〔発行者〕 応用生態工学会 (編集責任者: 幹事長 北村 匡, 事務局長 青江 淳)

1	はじめに	1
2	次期 (第 12 期) 役員候補を募集します	2
3	応用生態工学会 第 23 回広島大会開催案内	7
4	2019 年度海外学会等への派遣者の選考結果報告	15
5	行事開催報告	
5.1	応用生態工学会富山 平成 30 年度勉強会 開催報告	16
5.2	＜共催・応用生態工学会札幌＞若手の会 「若手のつどい勉強会 2019」 開催報告	18
6	理事会・幹事会報告	
6.1	第 97 回理事会報告	20
7	行事の経過と今後の予定	21
8	事務局より	24

1 はじめに

今年度最初のニュースレターとなります。次期役員候補募集のお知らせ、学会第 23 回広島大会の開催案内、各地の活動状況など、学会の動きをお伝えします。

次期役員候補募集のお知らせを掲載しました

今年度は役員改選年にあたります。次期役員募集・推薦委員会 (委員長: 江崎会長、委員: 近藤元会長、谷田元会長、辻本前会長) では、本年 9 月の第 23 回総会での次期役員選出に向けて、役員候補 (会長候補、副会長候補、理事候補、監事候補) の募集を行います。

役員候補届出の受付期間は、本年 6 月 1 日から 6 月 30 日までです (郵送受付のみ)。

学会第 23 回広島大会の開催案内を掲載しました

本年の応用生態工学会第 23 回広島大会は、本年 9 月 27 日 (金) ～30 日 (月) に広島大学東広島キャンパス等において開催します。

大会では、研究発表、自由集会、企業展示、各委員会、役員会、公開シンポジウム、エクスカージョンが行われます。

研究発表、自由集会、企業展示の申込みは、いずれも 6 月 30 日 (日) 17 時が締切です。

2 次期（第 12 期）役員候補を募集します

次期役員募集・推薦委員会

委員長：江崎保男会長

委員：近藤 徹元会長，谷田一三元会長
辻本哲郎前会長

今年度は役員改選年にあたります。本委員会は、本年 2 月 12 日開催の第 87 回理事会で設置されたことを受け、4 月 2 日に第 1 回委員会を開催し、以下の要領で次期役員候補の募集を行うことといたしました。

会員の皆様におかれましては、以下の要領に従い、候補者の届出をしていただくようお願いいたします。

なお、本委員会の規程（次期役員募集・推薦委員会規程）は、別添のとおりです。

【候補者届出を受け付ける役員】

会長（1 名），副会長（3 名以内），理事（15 名以内），監事（2 名）

※役員選出に関連する学会規約第 10，11，12，14，15 条の規定をご確認ください。

なお、幹事長については、学会規約第 13 条第 1 項の規定により理事会において候補が推薦されます。

幹事については、理事会において選出されます。

【届出の方法】

- ・自薦・他薦を問いません。
- ・会長候補及び副会長候補については、それぞれの候補者名に正会員 5 名以上の推薦人の名簿を添えて届け出てください。
- ・理事の候補者は、正会員であることが必要です。
- ・届出は、学会事務局において郵送のみにて受け付けます。

応用生態工学会事務局 事務局長：青江 淳

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5 麹町ロイヤルビル 405 号室

TEL. 03-5216-8401 FAX. 03-5216-8520

【受付期間】

2019 年 6 月 1 日から 6 月 30 日までの 1 ヶ月間

【届出の様式】

- ・別紙の所定様式を使用してください。
- ・別紙の所定様式は、学会ホームページから Word 版，pdf 版をダウンロードすることができます。

【今後の役員選出の流れ】

(1) 第 2 回次期役員募集・推薦委員会の開催

- ・候補者募集・受付期間の経過後（本年 7 月 18 日）に第 2 回委員会を開催し、候補者や推薦人名簿の確認などを行います。
- ・また、届出のあった候補者数を勘案して、学会規約第 10 条に定められている役員の人数の範囲内で候補者の推薦を行います。

(2) 候補者の周知

- ・本年 8 月上旬に、ニュースレター，ホームページ，会員メーリングリストにより第 23 回総会の開催案内とともに、次期役員の候補者を周知します。

(3) 総会での役員選出

- ・会長，副会長，理事及び監事は，本年 9 月 29 日に開催予定の第 23 回総会において投票により選出されます。
- ・なお，やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は，あらかじめ通知された次期役員候補者について投票し，または他の正会員を代理人として表決を委任することができます。

役員候補届出書

令和元年 6 月 日

応 用 生 態 工 学 会

次期役員募集・推薦委員会委員長 江崎 保男 殿

届出者 所 属 :

氏 名 :

印

連絡先 :

応用生態工学会の第 12 期 (会長・副会長・理事・監事) 候補として, 下記のとおり届出いたします.

記

1. 候補者 (会長・副会長・理事・監事 — いずれかに○)

(1) 氏名 :

(2) 所属・役職 :

(3) 専門分野 :

2. 推薦人名簿 (会長候補及び副会長候補の届出には、正会員 5 名以上の推薦が必要です)

No.	氏 名	会員番号 (正会員)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

(推薦人が 10 名を超える場合は別紙に記載ください)

(役員候補届出書 別紙)

推薦人名簿

[illegible]

【別 添】

次期役員募集・推薦委員会 規程

[1] 目的

本委員会は、学会規約に基づく次期役員の選出を円滑に行うために設置し、立候補者の募集・受付、候補者の推薦、周知など、次期役員候補の推薦までの手続きを調整する。

[2] 設置と構成

本委員会は、役員改選年ごとに設置し、当該年の総会終了後に解散する。委員長（1 名）及び委員（2 名以上）は、理事会が指名する会員で構成する。

[3] 立候補者の募集・受付

本委員会が立候補を募る役員は、会長、副会長、理事、監事とする。なお、立候補者の募集・受付の基本的な要領は以下のとおりとし、募集案内や日程等を会員に周知するものとする。

- ・役員候補者は正会員とする。ただし、学会規約第 11 条及び第 14 条により、会長、副会長及び監事はこの限りではない。
- ・候補者は、自薦・他薦を問わない。
- ・会長及び副会長については、それぞれの候補者名に正会員 5 名以上の推薦人の名簿を添えて学会事務局に届け出る。
- ・候補者の募集・受付期間は、役員改選年の総会の 4 ヶ月前～3 ヶ月前を基本とする。

[4] 候補者の推薦

本委員会は、候補者の募集・受付期間経過後に、立候補を受け付けた候補者に加えて、必要な場合には、学会規約第 10 条に規定する人数の範囲内で候補者の推薦を行う。

[5] 周知・投票に関する調整

本委員会は、学会事務局が実施する以下の活動の調整を行う。

- ・学会事務局は、立候補者の募集・受付の要領や推薦人名簿の様式等の必要な書類の周知を、学会ニュースレター及び学会のホームページへの掲載等によって行う。
- ・学会事務局は、立候補者もしくは推薦された次期役員候補者を、総会までに学会ニュースレター及び学会のホームページへの掲載等によって会員に周知する。
- ・学会事務局は、総会において次期役員選出のための投票結果をとりまとめる。なお、やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員については、あらかじめ通知された次期役員候補者について投票し、または他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

[6] 総会における報告

本委員会は、学会規約第 11 条、第 12 条、第 14 条、及び第 15 条に基づく総会での役員の選出が円滑に行われるよう、総会において以下に示す報告等を行う。

- ・次期役員候補者の募集・推薦等の経過の報告

[7] 付則

本規程は、平成 21 年 5 月 11 日より施行する。

本規程は、平成 21 年 8 月 27 日改正し、施行する。

本規程は、平成 27 年 4 月 1 日改正し、施行する。

本規程は、平成 29 年 8 月 30 日改正し、施行する。

3 応用生態工学会第23回広島大会 開催案内

応用生態工学会 第 23 回大会開催案内

2019 年（令和元年）9 月 27 日（金）～9 月 30 日（月）

第 23 回総会・研究発表会・自由集会・分科会（特定テーマ・セッション）・公開シンポジウム・エクスカージョン

応用生態工学会では、2019 年（令和元年）9 月 27 日（金）～9 月 30 日（月）に広島大学東広島キャンパスにて第 23 回大会を開催します。

本大会実施に向け、大会参加と研究発表の受付を開始します。6 月 30 日（日）が研究発表申込と研究発表要旨原稿提出の期限です。どうか奮ってお申込みください。なお、研究発表要旨原稿は研究発表申込と同時に提出していただきますのでご注意ください。

研究発表では、従来どおり研究成果の報告だけでなく、現場で抱えている課題や問題提起、プロジェクト提案等を自由に発表できます。また、テーマを絞って議論ができるよう、分科会や自由集会を準備いたします。議論したいテーマをお持ちの方からのユニークな分科会・自由集会の企画・提案をお待ちしております。また、今大会では、前回大会に引き続き、賛助会員による機材、技術等の展示コーナーを設けます。その申込み受付も始めました。

9 月 29 日（日）には、公開シンポジウム「ここまで進んだ生態系観測技術の最前線」を開催します。講演者等については現在調整中です。このシンポジウムは河川基金の助成を受けて実施し、一般にも公開します。

エクスカージョンは 9 月 30 日（月）に予定しております。行先は広島デルタを形成する太田川をテーマに、上流に位置する温井ダムから下流の汽水域干潟までを見学する予定です。詳細は後日お知らせします。

1. 大会概要

【日程】

第 1 日目 9 月 27 日（金）：研究発表（ポスター発表）、分科会、自由集会

第 2 日目 9 月 28 日（土）：研究発表（口頭発表）、分科会、自由集会、懇親会

第 3 日目 9 月 29 日（日）：午前：役員会・総会、午後：公開シンポジウム

第 4 日目 9 月 30 日（月）：エクスカージョン

一スケジュールは変更することがあります。詳細なスケジュールは、ホームページ（8 月上旬）、ニュースレター No. 85（8 月上旬発行）でご案内します。—

【会場】

〈研究発表〉

広島大学 東広島キャンパス

(口頭発表：生物圏科学研究科 C 棟)

(ポスター発表：大学会館)

住所：〒739-8528 広島県東広島市

鏡山一丁目 4 番 4 号, 5 号

〈総会・公開シンポジウム〉

広島大学 東広島キャンパス

(理学研究科 E 棟)

住所：〒739-8526 広島県東広島市

鏡山一丁目 3 番 1 号

〈懇親会会場〉

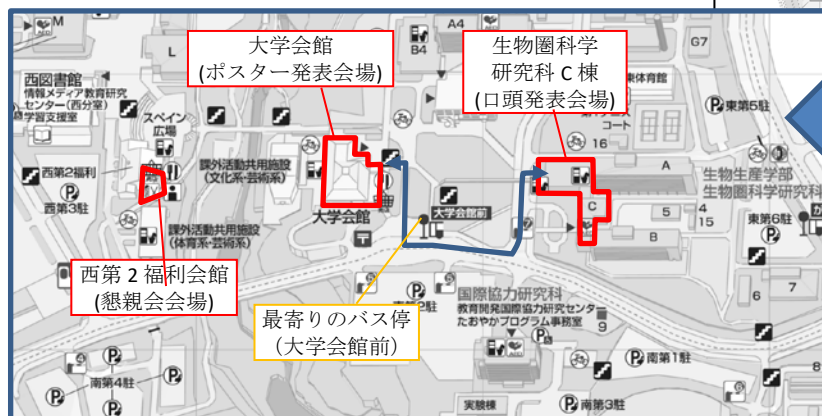
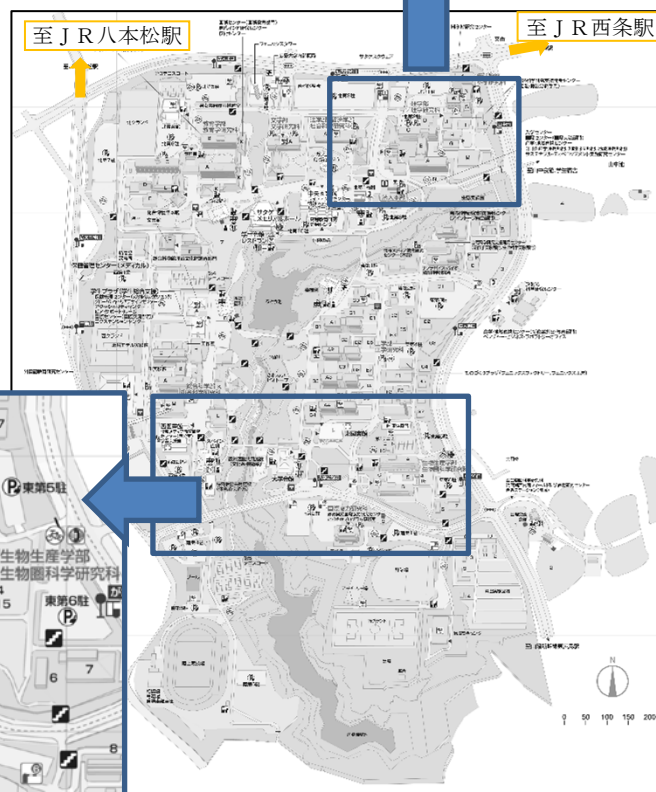
広島大学 東広島キャンパス

(西第 2 福利会館)

住所：〒739-8528 広島県東広島市

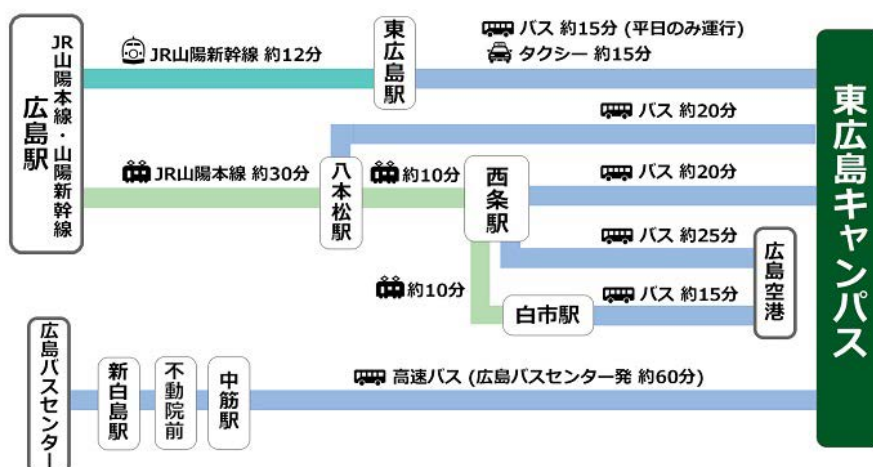
鏡山一丁目 7 番 1 号

URL : <https://www.hiroshima-u.ac.jp/>



広島大学キャンパスマップ

〈交通〉 下図のとおり



※バスの時刻表等は大学 HP に記載あり

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima>

〈周辺のホテル状況〉（各駅から徒歩 15 分圏内）



2. 公開シンポジウム

【テーマ】

ここまで進んだ生態系観測技術の最前線

【企画のねらい】

環境 DNA などの新たな観測技術の生態系評価への普及が進んでいますが、一部の研究者や技術者に限られているのが現状です。今後の更なる普及のためには、一般市民を含む河川に関わる多くの人々に情報共有を図る必要があります。本シンポジウムでは、これらの活用が進んでいる海外からの複数の講演者も招いた講演会により国内外の先端事例を共有すると共に、パネルディスカッションを通じて新たな観測技術の今後の可能性や問題点の議論を行います。

【会場】

広島大学東広島キャンパス 理学研究科 E 棟 1F E102 講義室

3. 研究発表募集

第 23 回大会における研究発表の受付を開始します。発表方法は、「ポスター発表」と「口頭発表」とします。下記要領に基づき応募してください。なお、「研究発表申込」と同時に「研究発表要旨原稿」（A4 版 1 ページ）を提出していただきます。

〔1〕研究発表内容

応募できる研究発表の内容は、応用生態工学に関する研究や事例の報告およびその他です。発表の内容が、現場のさまざまな事業・活動にどのように応用できる知見であるかに触れていただければ、研究報告が予報的な内容であっても構いません。

〔2〕発表方法

応募にあたっては、「ポスター発表」、「口頭発表」または「どちらでも良い」のいずれを希望するか明記してください。応募状況によっては、大会実行委員会に変更をお願いする場合があります。

〔3〕発表時間

口頭発表の発表時間は、1 課題当たり 15 分(発表 12 分, 討論 3 分)程度で、申込数により決定します。

〔4〕研究発表申込・研究発表要旨原稿提出

研究発表申込と研究発表要旨原稿提出は、6 月 30 日(日) 17:00 までを厳守してください。なお、締切当日は申し込みが殺到し、大会ホームページからの web 申込でも処理にお時間がかかることがあります。余裕を持った申込にご協力ください。

また、研究発表申込だけでは大会参加申込とはなりませんのでご注意ください。大会参加申込み方法、申込み開始日はニュースレターの次号(No. 85, 8 月上旬配信予定)やホームページでご案内いたします。

研究発表は、以下の内容について、応用生態工学会ホームページまたは電子メールでお申し込みください。また、同時に研究発表要旨原稿(A4 版 1 枚)を大会事務局へ提出してください。原稿は、応用生態工学会ホームページの研究発表要旨原稿サンプルを参考に作成してください。

なお、ポスター作成要領、口頭発表要領および関連スケジュールを 8 月上旬に応用生態工学会ホームページにアップロードする予定です。

大会事務局の電子メールアドレス: 23th_hiroshima_secretariat@ecesj.com

＜申込記入事項＞

1. 発表者名(フリガナ)および連名者名(フリガナ)と各々の所属(会員番号)
(会員番号: 連名者が非会員である場合、番号は不要)
2. 研究発表題目
3. 連絡先(〒, 住所, 氏名, TEL, FAX, E-mail)
4. 研究発表概要(和文 200 字程度)
5. 希望する発表形態(「ポスター発表」、「口頭発表」または「どちらでも良い」)
6. 研究報告・事例報告の別
7. キーワード(調査地域・調査対象を含め 5 つ程度)

[調査地域(例)]

河川, 湖沼, ダム貯水池, 汽水域, 海域, 森林, 水田, 畑地, 道路, 都市, 農村等

[調査対象(例)]

生態系・景観, 陸上植物, 陸上動物, 水生植物, 底生動物, プランクトン, 鳥類, 魚類等

8. 発表賞の審査対象となる希望の有無

発表賞の審査対象になることを希望するか否かをお知らせください。

なお、審査対象要件は以下のとおりです。

- 1) 若手研究者(学部学生, 大学院生, ポスドク等の若手会員)
- 2) 現場技術者または行政担当者

※研究報告・事例報告の別を問わず、過去に最優秀発表賞の受賞歴がある方は発表賞の審査対象になることはできません。

※登壇者が変更になった場合は審査対象から除外されます。

提出いただいた概要をもとに発表の振り分けを開始いたしますので、簡潔かつ具体的な研究内容を可能な限り明示してください。

＜研究発表要旨原稿作成要領＞

研究発表要旨は、例年どおり大会要旨集（白黒印刷）として発行します。また、大会終了後には要旨集を学会ホームページに掲載（カラー）いたします。

研究発表要旨については査読を行いません。要旨集にもその旨を記載いたします。

- ・ A 4 版用紙、縦位置、1 枚
- ・ 余白：左右 15mm、上下 18mm
- ・ 横一段組み、中央に「講演題目」を和文にて、14 ポイントの文字、2 行以内で記入。
- ・ 題目の下 1 行空け右寄せで「講演者名、連名者名、各々の所属」を、12 ポイントの文字で記入。
- ・ 本文は、10 ポイント・明朝。
- ・ 原稿はそのまま印刷できるイメージの PDF ファイルとして作成し、E-mail に添付して 23th_hiroshima_secretariat@ecesj.com 宛にお送りください。
- ・ 大会要旨集は白黒印刷ですが、大会終了後の研究発表要旨についてはカラーで掲載いたします。図表や写真など白黒印刷でも判別できるように工夫されることをお奨めします。

〔5〕研究発表者資格

研究発表者は、応用生態工学会の正会員、学生会員および賛助会員法人に所属する個人とします。なお、会費を継続して 2 年以上滞納している場合は滞納額の納入が必要となります。

〔6〕発表賞

ポスター発表、口頭発表のそれぞれを対象とします。9 月 29 日（日）午前中に開催される総会の終了後に表彰を行います。

Call for Presentations

Submission of presentations is now open for the 23th Annual Meeting of the Ecology and Civil Engineering Society (ECES) in Hiroshima. Categories of presentations are either research reports, case studies or other topics in the field of ecology and civil engineering. Two types of presentation, poster or oral, are acceptable in English along with Japanese. Please submit your presentation in line with the following guidelines.

[1] Topics

Acceptable presentations should be research reports and case studies on topics in relation to ecology and civil engineering. Preliminary research reports will be also acceptable, if they are applicable to various fields of ecology and civil engineering.

[2] Presentation types

Please notify your preferred presentation type (poster or oral) in your submission. Note that we might ask you to change your presentation type (poster or oral).

[3] Duration of oral presentation

Each oral presentation would be ca. 15 minutes long (12 minutes for presentation followed by a 3-minute discussion period).

[4] Application for oral or poster presentation

Deadline of submission: 17:00 (JST) , 30 (Sun) June , 2019

To apply for presentation: Please email the following information for application form with your presentation abstract file (1 sheet of A4 paper) together to the Ecology and Civil Engineering Society (ECES)

(23th_hiroshima_secretariat@ecesj.com). Please refer to the abstract sample posted on the ECES website. Instruction for poster & oral presentation and related schedules will be uploaded on the ECES website on the end of July.

<Required items on the application form>

1. Full name of a presenter, his or her professional affiliation and membership number. If the presenter has co-authors, full names of all co-authors, their professional affiliations and membership numbers (if they have) should also be written.
2. Title of presentation
3. Contact address of a presenter:
Postal and e-mail addresses, tel. & fax. numbers
4. Summary of presentation in 7 lines or 150 words
5. Preferred type of presentation (poster or oral)
6. Category of presentation (research report, case study)
7. Keywords (about 5 words relating to study sites and materials as listed below)

Study sites: Rivers, lakes, reservoirs, brackish waters, seas, forests, paddy fields, dry farmlands, roads, urban areas, rural areas, etc.

Materials: Ecosystem and landscape, terrestrial plants, terrestrial animals, aquatic plants, plankton, benthic animals (invertebrates), birds, fishes, etc.

8. Application for the Presentation Award

Please let us know whether you will apply for the Presentation Award or not.

Presentation Award qualifications:

- 1) Young society members (undergraduates, graduate students, or postdocs etc.)
- 2) Field technicians or administrative officers

-Note that members who won the Best Presentation Award at past ECES meetings cannot apply for the Presentation Award.

-If presenter is changed, please let us know as soon as possible. The presentation will be out of grading.

Presentations will be sorted into designated sessions based on the contents of submitted summaries. The summary should be made brief and specific for the purpose. The notification of acceptance and the designated presentation type (poster or oral) will be informed by the secretariat of ECES later.

<Instructions for presentation abstracts>

Presentation abstracts will be issued as an ECES meeting booklet. After the meetings, the contents of the booklet will be posted on the ECES website.

The secretariat will not review abstracts.

- ☐ Please use 1 sheet of A4 paper.
- ☐ Right and left margins should be more than 15 mm, and top and bottom margins should be more than 18 mm.
- ☐ The title of your presentation should be one column and centered. The length of the title should be within 2 lines and the font size should be in 14 points.
- ☐ Full names of the presenter and co-authors with their affiliations should be inserted right-aligned after inserting one blank column below the presentation title. The font size

should be in 12 points.

The main text should be in 10 points. The font should be representative Roman such as Times New Roman.

Please submit a camera-ready manuscript which includes figures and tables. Please send a PDF of the manuscript as an e-mail attachment to 23th_hiroshima_secretariat@ecesj.com. The ECES meeting booklet is printed in black and white. However, the booklet put on the ECES website will be in color. We recommend that you prepare your tables, figures, photos etc. clear in white and black print setting.

[5] Qualification of presenters

Presenters at oral sessions and a main contributor at poster sessions should be the ordinary member, student member or any people belonging to the supporting member company of the ECES (co-authors need not be ECES members).

[6] Presentation awards

The Ecology and Civil Engineering Society (ECES) confers "Presentation Awards" at the Annual Meeting to excellent posters and oral presentations. Winners of the Awards will be announced after a general meeting held in September 29 (Sun), 2019.

4. 分科会・自由集会企画募集

今大会でもテーマを絞って議論を深めるために、分科会や自由集会の企画を募集します。議論したいテーマをお持ちの方は申込記入事項を記載のうえ、事務局へお申し出ください（令和元年 6 月 30 日（日）17:00 まで）。なお、会場数及び開催時間帯は限られていますので、お早くご連絡ください。申込状況によっては、大会事務局において調整させていただく場合があります。

また、自由集会参加者から資料配布の要望が寄せられています。集会当日に配布資料をご用意されることを推奨いたします。数枚程度であれば、大会事務局で用意することも可能ですので、申込時にご相談ください。

（連絡先）E-mail: 23th_hiroshima_secretariat@ecesj.com

<申込記入事項>

1. 申込者の氏名・所属・連絡先住所・電話番号・Email アドレス
2. 集会名
3. 企画（氏名、所属）
4. 内容（300～400 字程度）
5. プログラム（詳細が未確定の場合は、提出段階の内容で記載下さい。）
6. 参加予定人数

5. エクスカーション

詳細については、現在、企画を進めています。詳細が決まり次第、お知らせします。

6. 懇親会

懇親会は、第 2 日目 9 月 28 日（土）の研究発表（口頭）、分科会、自由集会の終了後に行います。また、毎回好評の「全国からのお土産（お酒・おつまみ）」コーナーも予定しておりますので、会員同士の交流・情報交換の場として、ぜひご参加ください。

【日時】

9 月 28 日（土） 18 時ごろから

【会場】

広島大学東広島キャンパス 西第 2 福利会館食堂 (大学会館西側)

7. 賛助会員の企業展示発表

【展示要領】

- ・企業案内、機材、技術等の展示
- ・申し込み費用：無料
- ・展示期間：9 月 27 日（金）～9 月 28 日（土）の 2 日間
- ・場所：生物圏科学研究科 C 棟（予定）

※ 展示を希望する企業は、6 月 30 日（日）17:00 までに企業展示発表希望と明示し、企業名、展示内容（種別）を下記の申し込み先メールアドレス宛にお送りください。

企業展示発表申込先：23th_hiroshima_secretariat@ecesj.com

8. 大会参加費

〔1〕研究発表会

正会員・賛助会員：6,000 円、非会員：10,000 円、学生（学生会員・非会員）：3,000 円

参加費には講演要旨集が含まれています。講演要旨集のみ希望の方には、3,000 円で販売します。

〔2〕エクスカーショ

企画の詳細が決定次第、お知らせします。

〔3〕懇親会

正会員・賛助会員・非会員：5,000 円、学生（学生会員・非会員）：3,000 円（予定）

懇親会費は当日徴収いたしますが、人数を把握するため、事前にお申し込みください。

9. 参加申込み方法

大会参加申込み方法、申込み開始日は ニュースレターの次号（No. 85, 8 月上旬配信予定）やホームページでご案内いたします。

10. その他

- ・開会期間中の宿泊について、大会事務局として斡旋はいたしません。各自で手配をお願いします。
- ・大会期間中の昼食について、大学食堂の営業の有無について確認中です。大学周辺（徒歩 20 分程度）には、食堂やスーパーマーケット、コンビニエンスストアもあります。また、9 月 27 日（金）～29 日（日）は、お弁当（1 食 1,000 円程度）の準備も可能です。必要な方は、大会参加申込時にお申し込みください。

11. お問い合わせ先

応用生態工学会事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5 麹町ロイヤルビル 405 号室

TEL：.03-5216-8401 FAX：03-5216-8520

E-mail：23th_hiroshima_secretariat@ecesj.com

4 2019 年度海外学会等への派遣者の選考結果報告

国際交流委員会 委員長 渡辺幸三

国際交流委員会では、2019 年度海外学会等への派遣員の募集を行った。3 月 31 日を応募期限として学会ホームページ、ニュースレター、メーリングリスト、フェイスブックによる募集を行った結果、2 名から応募があった。4 月に開催した国際交流委員会において、6 名の委員により応募者 2 名の応募内容を規定の審査基準で審査した結果、下記の者を派遣者として決定することが承認された。

2019 年度海外学会等への派遣者

氏名：荒田 洋平（所属：東京農工大学 大学院農学府 国際環境農学専攻 大学院生）

派遣先：American Geophysical Union Fall Meeting 2019（アメリカ合衆国，サンフランシスコ）

学会開催日：2019 年 12 月 9 日～13 日

助成額：20 万円

派遣者には、当該学会に参加した後、所定の報告様式で報告してもらい、その報告をニュースレターおよび会誌（応用生態工学会、トピックとして）に掲載する。

5 行事開催報告

5.1 応用生態工学会富山 平成30年度勉強会 開催報告 「神通川サクラマス・魚道現地見学会」

応用生態工学会富山

升方 祐輔 株式会社新日本コンサルタント

1. 概 要

応用生態工学会富山では、一般の方の環境学習や会員相互の情報交換を目的に、北信越でのワークショップや事例発表会、技術研究会等を開催しています。

今回、「神通川サクラマス・魚道現地見学会」と題して、平成 31 年 3 月 24 日（日）に富山地域勉強会を開催しました。昨年、平成 29 年 4 月に応用生態北信越技術研究会で見学した「神通川サクラマス自然再生事業」は、完成から 1 年が経過しています。また、神通川水系熊野川に設置された魚道も数年が経過しています。そこで、昨年の観測史上 2 位相当の規模の出水を経験した各施設の現状や変化を確認することを目的としました。また、現地見学会で訪れた神通川西派川、熊野川では、河川から試料採水による環境 DNA 調査を実施しました。

年度末の週末開催にもかかわらず、富山県立大学の学生も含め 32 名の参加がありました。

2. 現地見学会

当日は、13時に富山駅北口に集合後、バスで3箇所の現場を廻りました。一つ目の現場は、神通川支流の熊野川の上流に位置する西小俣堰堤を訪れ、扇形魚道の機能状況を調査しました。開会挨拶にあたり高橋剛一朗会長から、サクラマス遡上には河川流路全域での環境や土木施設の配慮が必要である旨をご説明いただきました。

現場では富山県土木部河川課 川向 徹 主幹から施工当時の経緯や魚道の特徴の説明を受けました。西小俣堰堤は、神通川水系熊野川の上流にある農業用取水堰です。富山県は平成20年に富山漁業協同組合と協力して扇形魚道を整備しました。この魚道は延長・幅が 6 m の扇形で斜路勾配は 1/5 程度、現地採取の玉石を階段式に配置し、サクラマスの稚魚も比較的容易に遡上できるよう斜面流水の減勢やプール効果を得るよう工夫し、安価で施工されています。

今回の現地調査では、河道ミオ筋の変化により魚道への流水が減少しており、魚道機能を回復するための今後の改善策について意見を交わしました。

また、サクラマスの稚魚・幼魚の食性環境を把握するために不特定の生物種の検出を行う目的で「環境DNA調査」に必要な河川水の試料採取を行いました。試料採取の留意点などの説明を受けながら、環境DNA調査に必要な水温・pH・水深・流速などの流水調査をあわせて実施しました。今後の分析結果が楽しみです。



西小俣堰堤（熊野川）の現地調査

二つ目の現場は、神通川本川神通地先の越夏場所を訪れました。サクラマスはサケと生活史が異なり幼魚期と成魚期を神通川で過ごします。このため、神通地先（神通川右岸17.8k～18.0k）にはサクラマスの生育・生息に適した越夏環境を整備しています。現場では、富山河川国道事務所 宮下 優 地域防災調整官から整備環境と変遷状況の説明を受けました。越夏場所として必要な重要な淵の再生（水深2m以上、流速0.5m/s以下）、夏期の水温環境の再生（25℃以下）、水中カバーの再生のため、ブロックによる減勢工、木工沈床やブロックによる魚巣工等が施工されていましたが、平成30年7月豪雨の出水による河道ミオ筋の変化によって淵の形成状況に変化が生じていました。魚巣工等の空隙部への礫堆積により整備環境の変化が生じていましたが、洪水後のモニタリング調査ではサクラマスの幼魚が確認されており、出水後の河床変遷後にも生息環境が維持されていることが確認できました。



越夏場所（神通地先）の現地調査

三つ目の現場は、神通川西派川の成子地先（神通川左岸18.0k付近）に整備されたサクラマス越冬・産卵場所を訪れました。現場では、富山河川国道事務所 宮下 優 地域防災調整官から整備環境と多様な流れを創出する石組み工の説明を受けました。越冬場所としての重要な要因は、流速0.5m/s以下の緩やかな流れと産卵床となる礫の存在に加え、倒木等の陸上カバーの存在が重要とのことで、越冬用人工水路の造成及び、カバーを含めた西派川の利活用が図られていました。平成29年7月に実施された捕獲調査では遡上個体と思われる全長28cmのサクラマス成魚が確認されており、多様な流れがサクラマス遡上に効果的に整備されている流路であることが確認できました。また、当該流路でも環境DNA調査に必要な試料採取を実施しました。



越冬・産卵場所（成子地先）の現地調査

3. おわりに

今回の勉強会は、河道の変遷がもたらすサクラマスの生息環境の変化を探り、水の流れが環境に与える変化を実感できる勉強会でした。勉強会にご参加いただいた皆様、及びスタッフの皆様、どうもありがとうございました。また、国土交通省富山河川国道事務所、富山県土木部河川課の関係者の皆様に多大なご支援、ご指導を賜りました。ここに深く感謝申し上げます。



富山河川国道事務所 副所長
渡邊一成氏による閉会挨拶

5.2 <共催・応用生態工学会札幌>若手の会「若手のつどい勉強会 2019」開催報告

応用生態工学会若手の会
大槻順朗 土研・自然共生研究センター

1. 開催主旨

応用生態工学会・若手の会では、応用生態工学を志す若手研究者や技術者をつなぐ「応用生態工学会・若手のつどい勉強会 2019」を 4 月 19 日から 2 日間に渡って開催しました。1 日目は「河川の地形から生態まで」をテーマとした勉強会を開き、河川工学分野より渡邊康玄教授（北見工業大学）、生態学分野より小泉逸郎准教授（北海道大学）をお招きし、河川工学と河川生態学の基礎を学ぶきっかけとなるご講演をいただきました。また、道内での応用生態工学の取り組みとして、標津川と豊平川での事例をご紹介いただきました。2 日目には、若手同士が相互研鑽を積む若手研究発表会を実施し、学術分野を超えた活発なディスカッションが展開されました。また、午後には豊平川の新サケ産卵場造成に関するフィールド見学を行い、研究者、行政、技術者、市民団体それぞれの立場から意見交換を行いました。若手の会では今後もこうした勉強会の企画や本会での交流の機会などを通じて、若手の交流を深めつつ新しい視点での研究や取り組みのきっかけになるよう活動して参ります。

2. 開催概要

- (1) 開催日時：平成 31 年 4 月 19 日（金）、20 日（土）
- (2) 開催場所：北海道大学工学部（1 日目）、（一財）北海道河川財団、豊平川（2 日目）
- (3) 参加者：74 名（内訳：民 33、学 17、官 11、研 12、財 1 / 年齢：～30 歳 33 名、～40 歳 11 名、40 歳～30 名）
- (4) プログラム
 - ・勉強会：
 - 基礎講義 ①：渡邊康玄 教授（北見工業大学） 「砂州（中規模河床波）の形成と変化」
 - 基礎講義 ②：小泉逸郎 准教授（北海道大学） 「魚類の移動性 vs. 河川の多様性と連結性」
 - 事例講演：石田憲生 氏（株式会社ドーコン）、有賀望 氏（札幌ワイルドサーモンプロジェクト）
 - ・若手研究発表：伊豫岡宏樹（福岡大工）、鈴木開士（北大農）、玉田祐介（(株)長大）、今井洋太（徳島大理工）久加朋子（北大工）
 - ・フィールド見学：豊平川、協力：札幌ワイルドサーモンプロジェクト
- (5) 主催：応用生態工学会 若手の会、北大 地域防災学研究室、北大 森林生態系管理学研究室
共催：応用生態工学会札幌、協力：札幌ワイルドサーモンプロジェクト、(株)ドーコン、(株)北海道技術コンサルタント、(株)長大、(株)福田水文センター、後援：（一財）北海道河川財団、応用生態工学会 普及・連携委員会



勉強会



現地見学会

3. 開催状況

< 1 日目 >

基礎講義 ①：渡邊康玄 教授（北見工業大学） 「砂州（中規模河床波）の形成と変化」

河川環境の基盤となる河川地形の形成に関する基礎講座として、渡邊康玄先生に講演いただきました。先生は 30 年以上に渡って「砂州」をご研究されています。ご専門でない方にとっては、河床の地形は流れの不規則な結果だと思われるかもしれませんが、実はある規則性をもって変動しており、数学的にも理論体系が構築されています。こうした「砂州」の基礎的理論とともに、水路実験、現地データをふんだんに織り交ぜつつも大変わかりやすいご講演であり、水工学の専門家としても大変勉強になるご講演でした。



渡邊康玄先生

基礎講義 ②：小泉逸郎 准教授（北海道大学） 「魚類の移動性 vs. 河川の多様性と連結性」

河川生態学の基礎講座として、小泉逸郎先生にご講演いただきました。先生は 20 年近くも同じ川においてオショロコマの個体群動態を追いかけておられます。特に、産卵や洪水時の避難場として個体群が本川から支川（沢）に移動し利用するといった、本川と支川の環境の違いや連結性と個体群動態との関係に着目されています。個体群動態を捉えるということは、言うは易し行うは難しで、膨大な現地調査が必要だろうと想像されますが、そういった苦勞を感じさせず、非常に楽しそうに語られる先生の姿が大変印象的でした。



小泉逸郎先生

事例講演：石田憲生 氏（株式会社ドーコン） 有賀望 氏（札幌ワイルドサーモンプロジェクト）

石田様からは、標津川の再蛇行化の検証事例をコンサルタントのお立場からご発表いただきました。若手に向けてということで、業務内容に関するお話も頂戴いたしました。有賀様からは、市民団体としての環境活動のあり方という視点から、豊平川における野生のサケ復活の取り組みを官民とも連携して実施している内容をお話いただきました。



石田様



有賀様

< 2 日目 >

若手研究発表：

2 日目には、6 名の若手が研究テーマについてディスカッションする場を設けました。学会よりもゆったりと時間を取り、充実した内容となりました。



若手研究発表

フィールド見学：

2 日目午後は、融雪出水が始まる豊平川にて、札幌ワイルドサーモンプロジェクトの方々にお世話になり、サケ産卵場造成区のご説明とフィールド体験を実施しました。産卵場として好適な副流路の造成を行政に提案し実現したものです。サケの幼魚も間近に見ることができ、有意義な経験を得ることができました。



フィールド見学

6 理事会・幹事会報告

6.1 第 97 回理事会報告

第 97 回理事会が本年 2 月 12 日（火）に東京都千代田区麹町の弘済会館において開催された。

なお、これに先立って、昨年 12 月 25 日（火）に第 80 回幹事会が学会事務局において開催され、第 97 回理事会に付議する事項について審議が行われた。

第 97 回理事会では、次の 3 件の審議事項について審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。

①次期役員募集・推薦委員会の委員指名

- ・次期の会長・副会長・理事・監事の選出にあたって、学会規約細則第 5 条の規定に基づき次期役員募集・推薦委員会を設置することとし、その委員長と委員について、次期役員募集・推薦委員会規程[2]の規定に基づいて、次のとおり指名することが確認された。

委員長：江崎会長、委員：近藤元会長、谷田元会長、辻本前会長

②第 4 次中期計画事後評価及び第 5 次中期計画策定に向けた今後の作業手順及びスケジュール

- ・第 4 次中期計画の事後評価については、2018 年度末からアクションプランの各実施主体に実績を提出してもらい、それらを幹事会で取りまとめた後に、将来構想委員会に評価してもらい、その結果を幹事会、理事会で審議し、2019 年度の総会で報告する。
- ・第 5 次中期計画策定については、第 4 次中期計画の事後評価も踏まえて 2019 年度 9 月頃から将来構想委員会が素案を作成し、それらを幹事会、理事会、各委員会で審議し、それらの修正意見等や中期計画担当班の議論を踏まえ、成案を作成して 2020 年の総会に報告する。

③本年の第 23 回広島大会の企画

- ・昨年の 11 月 16 日に第 1 回実行委員会を開催し、役割分担、大会日程、公開シンポジウム、エクスカーション（国土交通省太田川河川事務所管内を中心として複数案について検討中）、発表会場、懇親会会場等について確認した。

- ・公開シンポジウムは、国際交流委員会の国際シンポジウムと共催で「ここまで進んだ生態系観測技術の最前線」というテーマで実施する。
- ・広島大学東広島キャンパス内で Wi-Fi 利用の希望者には ID とパスワードを配布する。

7 行事の経過と今後の予定

2018 年度（平成 30 年度）行事の経過と今後の予定

4. 1	2018 年度（平成 30 年度）開始
4. 9～16	国際交流委員会（メール会議），2018 年度海外学会等への派遣者決定
4. 20	応用生態工学会連続セミナー 第 5 回「環境の未来を考え・語る会」 （（一財）水源地環境センター）
4. 23	応用生態工学会 第 22 回大会第 2 回実行委員会（東京工業大学 大岡山キャンパス）
4. 26～27	応用生態工学会 若手の会 「若手のつどい勉強会 2018」 （（国研）土木研究所自然共生センター・水辺体験館）
5. 25	第 77 回幹事会（麹町：応用生態工学会事務所）
6. 4	ニュースレター 80 号発行
6. 7	会誌編集委員会編集幹事会（麹町：応用生態工学会事務所）
6. 19	第 93 回理事会（麹町：弘済会館）
6. 27～7. 2	情報サービス委員会（メール会議），個人情報等の取り扱い方針（案）の審議
7. 11	2017 年度決算監事監査（麹町：応用生態工学会事務所）
7. 12	応用生態工学会 第 22 回大会第 3 回実行委員会（東京工業大学 大岡山キャンパス）
7. 13	応用生態工学会連続セミナー 第 6 回「環境の未来を考え・語る会」準備会 （麹町：応用生態工学会事務所）
7. 23	2018 年度第 1 回事務局改善 WG（麹町：応用生態工学会事務所）
7. 28	会誌「応用生態工学」Vol. 21-1 発行
8. 2	ニュースレター 81 号発行
8. 3	平成 30 年度河川基金助成事業による成果発表会 （東京大学伊藤国際学術研究センター）
8. 19～24	<後援・International Association for Hydro-Environment Engineering and Research (IAHR) > 12 th International Symposium on Ecohydraulics (ISE2018) （日本大学理工学部駿河台キャンパス）
8. 27	第 78 回幹事会（麹町：応用生態工学会事務所）
9. 1	応用生態工学会大阪 第 4 回ミュージアム連携ワークショップ in 大阪 公開講座：農地がもつ自然環境機能の活かし方を考える （大阪市立自然史博物館）
9. 6	第 94 回理事会（麹町：弘済会館）
9. 7	応用生態工学会 第 22 回大会第 4 回実行委員会（東京工業大学 大岡山キャンパス）
9. 14	<共催・国土交通省> 応用生態工学会名古屋 平成 30 年度 技術勉強会 「河川 CIM で進化する川づくり」（名古屋市 大津橋ビル 5F 会議室）

9. 20～23	応用生態工学会 第 22 回大会 (東京工業大学 大岡山キャンパス) 9 月 20 日 (木) : エクスカーション 9 月 21 日 (金) : 研究発表 (ポスター発表)、分科会、自由集会 9 月 22 日 (土) : 研究発表 (口頭発表)、分科会、自由集会、懇親会 9 月 23 日 (日) : 午前: 役員会、第 22 回総会 午後: 公開シンポジウム
9. 21	国際交流委員会 (東京工業大学 大岡山キャンパス西 9 号館)
9. 21	普及・連携委員会 (東京工業大学 大岡山キャンパス西 9 号館)
9. 22	会誌編集委員会 (東京工業大学 大岡山キャンパス西 9 号館)
9. 22	テキスト刊行委員会 (東京工業大学 大岡山キャンパス西 9 号館)
9. 23	第 79 回幹事会 (東京工業大学 大岡山キャンパス西 9 号館)
9. 23	第 95 回理事会 (東京工業大学 大岡山キャンパス西 9 号館)
9. 23	第 22 回総会 (東京工業大学 大岡山キャンパス西 9 号館)
9. 28～ 10. 2	第 96 回理事会 (メール会議), 第 11 期幹事の選出
10. 11	応用生態工学会大阪 河川生態系ネットワークを考える研究会
10. 31	<後援・近畿地方整備局>平成 30 年度多自然川づくり近畿地方ブロック担当者会議 (大阪合同庁舎第 1 号館 第一別館)
11. 9～10	第 17 回北信越現地ワークショップ in 福井 「福井の水辺環境の再構築をめざして～恐竜がいた時代と現在、未来へ～」 (福井県立大学交流センター講堂)
11. 10	応用生態工学会仙台 東北地域研究発表会・シンポジウム (福島県三春町: 三春交流館まほら)
11. 13	応用生態工学会札幌 セミナー2018 「気候変動と人口減少にいかに対応するか～グリーンインフラ～」 (道民活動センター かでる 2.7 大会議室)
11. 14	応用生態工学会連続セミナー 第 6 回「環境の未来を考え・語る会」 (麴町: 応用生態工学会事務所)
11. 14	普及・連携委員会 (浜松市地域情報センター)
11. 14～15	第 10 回全国フィールドシンポジウム in 浜松 「明治期の治山治水と現代の総合土砂管理が将来の天竜川流域を富ます ～流砂が支える河川―海岸の生態系を保全するために～」 (浜松市地域情報センター・天竜川下流部)
11. 16	応用生態工学会金沢 研修会 「DNA を用いた生態系調査～その基礎から環境 DNA まで」 (石川県勤労福祉文化会館 2 階ホール)
11. 16	<共催・河川生態学術研究会>第 21 回河川生態学術研究発表会 (東京大学農学部弥生講堂・一条ホール)
11. 16	応用生態工学会 第 23 回大会第 1 回実行委員会 (広島大学 東広島キャンパス)
11. 25～28	2018ICLEE 第 9 回大会 (台湾台北市 朝暘科技大学) 11 月 25 日 (日) : 理事会, 運営委員会 11 月 26 日 (月) : 研究発表, 懇親会 11 月 27 日 (火) : 研究発表 11 月 28 日 (水) : エクスカーション
12. 4	応用生態工学会福岡 九州地区事例発表会「九州の応用生態工学の事例と研究」 (九州大学西新プラザ)
12. 25	第 80 回幹事会 (麴町: 応用生態工学会事務所)
12. 27	ニュースレター 82 号発行
1. 17	応用生態工学会連続セミナー 第 7 回「環境の未来を考え・語る会」 (麴町: 弘済会館)

1. 25	応用生態工学会福岡 第 8 回遠賀川中島自然再生勉強会 (遠賀川中島・笹尾川水辺の楽校)
1. 29	テキスト刊行委員会 第 1 回中小河川テキスト会議 (九州大学西新プラザ)
2. 12	第 97 回理事会 (麴町：弘済会館)
2. 18	ニュースレター83 号 発行
2 月	会誌「応用生態工学」Vol. 21-2 発行
2 月～3 月	2019 年度海外学会等への派遣員の募集
3. 24	応用生態工学会富山 平成 30 年度勉強会 「神通川サクラマス・魚道現地見学会」 (神通川本川・熊野川・西派川)
3. 31	2018 年度 (平成 30 年度) 終了

2019 年度 (令和元年度) 行事の経過と今後の予定

4. 1	2019 年度 (平成 31 年度) 開始
4. 2	第 1 回第 12 期次期役員募集・推薦委員会 (麴町：応用生態工学会事務所)
4. 5	応用生態工学会 第 23 回大会第 2 回実行委員会 (広島大学 東広島キャンパス)
4. 19～20	＜共催・応用生態工学会札幌＞若手の会「若手のつどい勉強会 2019」 (北海道大学工学部、豊平川)
4 月	国際交流委員会 (メール会議), 2019 年度海外学会等への派遣者決定
5. 1	2019 年度 (令和元年度) 開始
5. 18～19	テキスト刊行委員会 第 2 回中小河川テキスト会議 (九州大学西新プラザ)
5. 23	第 81 回幹事会 (麴町：応用生態工学会事務所)
5. 28	ニュースレター84 号発行
5. 29	会誌編集幹事会 (麴町：応用生態工学会事務所)
5. 31	＜共催・会誌編集委員会＞応用生態工学会札幌 「第 1 回北海道の応用生態工学 掲載論文の解説と展望 その 1」 ～「小さな自然再生」と「きっと役立つ省力化のモニタリング技術」～ (札幌エルザプラザ)
6. 1～6. 30	次期 (第 12 期) 役員候補者募集
6. 28	第 98 回理事会 (麴町：弘済会館)
6 月末	応用生態工学会テキスト勉強会 (富山地域研究会)
7. 18	第 2 回第 12 期次期役員募集・推薦委員会 (麴町：応用生態工学会事務所)
7 月	会誌「応用生態工学」Vol. 22-1 発行
7 月	ニュースレター85 号発行
7 月	幹事会 (麴町：応用生態工学会事務所)
8. 8～9	テキスト刊行委員会 第 3 回中小河川テキスト会議 (国研) 土木研究所 自然共生研究センター)
8 月	理事会
9. 27～30	応用生態工学会 第 23 回大会 (広島大学東広島キャンパス) 9 月 27 日 (金) : 自由集会、ポスターコアタイム、各委員会 9 月 28 日 (土) : 口頭発表、自由集会、役員会 (現)、懇親会 9 月 29 日 (日) : 午前：第 23 回総会、役員会 (新) 午後：公開シンポジウム 9 月 30 日 (木) : エクスカーション

9. 27～29	大会期間中に幹事会、理事会、各委員会を開催 (広島大学東広島キャンパス)
11. 14～15	第 11 回全国フィールドシンポジウム in 耳川 「いい耳川をめざして！流域一体となった総合土砂管理による河川生態系の再生 ～世界初！3 ダム連携通砂事業の現場を見る～ (日向市中央公民館・耳川)
12 月	幹事会 (麴町：応用生態工学会事務所)
2 月	ニュースレター86 号発行
1 月	会誌「応用生態工学」Vol. 22-2 発行
2 月	理事会
2 月	ニュースレター87 号 発行
2 月～3 月	2020 年度海外学会等への派遣員の募集
3. 31	2019 年度（令和元年度）終了

8 事務局より

8.1 事務局のメンバーが変わります

2013 年度より事務局員として、会員データベース・メーリングリスト・会誌団体購読・LEE 購読者・大会参加者等の管理、年会費請求、帳簿作成、ニュースレター配信等の業務を担っていただいた浦川苑子氏が 2019 年 3 月末を持ちまして退職されました。6 年間の長きにわたり学会事務を担っていただきましたことに感謝申し上げます。

後任につきましては、現在、人選を進めております。

8.2 いつもながらの勤務先等の会員情報変更登録のお願い

会員情報の変更登録は、ホームページのトップ画面右上の「入退会・登録変更・購読」バナーから入り、「会員登録情報変更フォーム」から入力して送信してください。

また、下記 URL で「会員登録情報変更フォーム」へ直接接続することもできます。

<https://www.ecesj.com/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=change>

会員情報変更のご連絡は、学会事務局のアドレス E-mail: eces-manager@ecesj.com にメールをいただくことでも可能です。

会誌のお届け、ニュースレター、その他連絡では、かなりの不達が発生しています。よろしくお願いいたします。

8.3 退会の申し出は学会ホームページの退会フォームからお願いいたします

退会の申し出については、退会フォームのほかに、事務局へのメール、電話、年会費払込請求書の通信欄に記載等でなされています。事務局の見落とし等の原因の元になりますので、できるだけ退会フォームまたは件名に「退会の連絡」等明示したメールによる申し出をお願いいたします。

8.4 既刊学会誌を希望する会員に頒布します（郵送料は負担してください）

学会事務局では、既刊学会誌の在庫整理を進めています。今後は一定の冊数を確保して、残りは希望者への頒布、廃棄を考えています。希望者多数の場合は、先着順です。

希望される会員は、学会事務局のアドレス E-mail: eces-manager@ecesj.com までお知らせください。申込者には、事務局から郵送料を計算してお知らせします。郵送料をいただいた後、発送します。

8.5 会員数および LEE 購読者数

2019 年 3 月 31 日現在

	会員数	対前年同時期比較	LEE 購読者数	対前年同時期比較
名誉会員	8 名	増減なし	※1 名	増減なし
正会員	849 名	減 49 名	※71 名	減 10 名
学生会員	89 名	減 22 名	※1 名	減 1 名
合 計	946 名	減 71 名	73 名	減 11 名
賛助会員	42 法人 (60 口)	増 5 法人 (増 6 口)		